

# 休みの日、 どう過ごす？

遊ぶ？

勉強？

今月から、すべての公立小・中学校などで始まる完全学校週5日制。毎週、土曜日と日曜日が休日になり、子どもたちが家庭や地域で過ごす時間が、今までより多くなります。  
今月は、そんな休日を有意義に過ごしてもらうために、子どもたちや親子でさまざまな体験ができる活動を紹介しましょう。



## 地域の人たちと ふれあいましよう

子どもたちにとって、集団活動の中でたくさんの人たちとふれあい、互いに学び合うことはとても大切です。私たちが住む北区には、そのような体験ができる場がたくさんあります。

その一つが、地域で活動している子ども会です。現在、区内には百十六の子ども会があり、約七千人の子どもたちが参加しています。北区子ども会連合会会長の細川由美子さんは、「子ども会の活動は遊びが中心。だから、だれもが楽しく取り組むことができるんですよ」と話します。



▲子ども会リーダーに対する研修会も行っています。リーダーは、ここでの経験を地域での活動に生かします



▲昨年のリーダー研修会で体験したいかだ乗り。「最初は揺れが怖かったけど、慣れたらとても楽しかったよ」

子ども会では、異なる年齢の子どもたちが一緒に活動しています。その中で子どもたちは、仲間との協調性や年少者をいたわる気持ちなどを自然と身に付けるようです。また、地域の大人たちも育成者として参加し、子ども会を側面から支えています。「子どもたちが多くの人たちとふれあいながら成長していく姿を見ることは、楽しくてたまりません。これからもみんなで協力し合い、いろいろな活動に取り組んでいきたいですね」と、細川さんは今後の抱負を語ってくれました。



▲「子ども会には、いつでも加入できます。気軽に遊びに来てくださいね」と笑顔で話す細川さん